

千船病院は日本医学会『出生前検査認証制度等運営委員会』の認証連携施設です。

千船病院は、NIPT「無侵襲的出生前遺伝学的検査」を日本医学会の認証を受けて実施しています。

NIPT

出生前診断は広義では、妊娠中に実施されている胎児へのすべての検査が含まれます。通常の妊婦健診で行われる胎児発育確認の超音波検査も出生前診断の一つです。

しかし、胎児が生まれた時点からある病気、特に染色体疾患の有無を調べる検査を出生前検査と呼ぶことが多くなっています。出生前検査の選択肢は非常に多様化しています。

当院では、妊婦さんの血液中に含まれている胎児 DNA を検出し、母体採血で胎児の 21、18、13 番染色体の異常の可能性が高いかどうかを調べる NIPT 検査を行っています。

NIPT 検査は、母体血清マーカー検査より精度が高いですが、確実に疾患の有無を診断できるわけではありません。

直接母体のお腹に針を刺すことがないため検査に伴う流産の危険性はありません。

NIPT でわかること・わからないこと

赤ちゃん 100 人中 3~5 人程度は、生まれた時点で何らかの疾患があることがわかっています。この中で染色体が原因となる疾患は約 25%です。NIPT 検査は胎児の 21、18、13 番染色体の数的疾患の可能性を調べる検査で、それ以外の疾患はわかりません。21、18、13 番の 3 つの染色体以外の数的異常の場合は自然流産になるため、3 つの染色体以外に関する検査の意義は極めて低いと考えられています。

遺伝カウンセリング

NIPT 検査は、妊婦さん全員が受けなければいけない検査ではありません。専門外来で検査前に遺伝カウンセリングを通じてこの検査のことをよく理解し、ご自身とパートナーにとって必要であるか十分に考え納得したうえで実際に受けるかどうかを決めてください。

ご予約は、千船病院産婦人科外来受診時に行います。(電話でのご予約はできません。)

<リンク>

[出生前検査認証制度等運営委員会
費用について](#)